

福岡医療短期大学歯科衛生学科ディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たすための要素として、コンピテンシー（行動特性・能力）を「学修成果」と位置付けてディプロマ・ポリシーと関連付けて示しています。

ディプロマ・ポリシー	コンピテンシー							
	① 人間力	② 倫理に基づく 行動力	③ コミュニケー ション能力	④ 課題探求力	⑤ 社会貢献力	⑥ 専門的実践能力	⑦ 協働する力	⑧ 自己研鑽力
1. 歯科衛生士として豊かな教養と人間性を持ち、基本的な医療・保健・福祉の知識を体系的に理解し、多様な対象者を支援することができる。	○	○	○		○	○	○	
2. 多様な情報や知識を論理的に分析、考察することができる。				○		○		
3. 科学的思考力を持ち、口腔保健活動における問題を発見・解決することができる。			○	○		○	○	○
4. 医療人としての自覚と倫理観を備えている。	○	○			○		○	
5. 口腔の健康管理に関心を持ち、生涯にわたって学修を継続することができる。		○		○	○	○		○
6. 自己管理能力や主体性を発揮し、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。	○	○	○		○			○
7. 国際交流にも視点をおいた多様な対象者に対して幅広いコミュニケーションを図ることができる。			○		○		○	
8. 根拠や理論に基づいた口腔保健管理のための知識や技能を活用し、対象者の生活の質（QOL）の向上を図ることができる。	○	○	○	○	○	○	○	○

福岡医療短期大学が学生に求めるコンピテンシー（行動特性・能力）

- ①人間力：本学の「建学の精神」に基づく教育の理念を理解し、幅広い教養と深い感性を身に付け行動することができる。
- ②倫理に基づく行動力：医療人として法と医療倫理を遵守するとともに高い倫理観に価値を置いて行動することができる。
- ③コミュニケーション能力：様々な状況に応じて相手を尊重し対話することができる。
- ④課題探求力：課題の本質に目を向け問題意識を持ち探求できる。
- ⑤社会貢献力：地域社会における医療・保健・福祉・行政等の活動を通じて、国民の健康回復、維持、向上と疾病の予防に貢献することができる。
- ⑥専門的実践能力：歯科衛生士としての社会的使命を自覚し、医療人としての適切な態度をもって、統合された知識と基本的技能を身に付け、臨床において実践することができる。
- ⑦協働する力：連携する全ての医療従事者や患者・家族に関わるすべての人の役割を理解し、チーム医療の担い手として協調・協働することができる。
- ⑧自己研鑽力：主体的に学び、他の医療従事者とともに研鑽しながら生涯にわたって自律的に学修を継続することができる。